

出版デジタル機構の電子書籍配信システム ビットウェイとの協働構築が決定

株式会社出版デジタル機構（東京都千代田区神田神保町）と株式会社ビットウェイ（東京都台東区台東）は、このたび、出版デジタル機構の取次・配信システムを協働で構築することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

出版デジタル機構は、電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促すインフラとして設立されました。このため、「プロセスの簡素化」「シンプルなサービス」「信頼性・安全性」「多様な要求への対応」を実現した取次・配信システムの構築を最優先課題とし、検討を重ねてまいりました。また、経済産業省「コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）」によって電子化されたコンテンツについては、今秋より電子書店を通じての販売の開始を前提としております。

これらの条件から配信システムは既存の取次事業会社と協働構築することとし、複数社と協議した結果、ビットウェイをパートナーとすることといたしました。

今後は、具体的なシステムの開発、テストを重ね、システムの稼働開始を目指してまいります。

なお、出版デジタル機構はあらゆる電子書店、あらゆる電子取次と等しくお取引させていただきたくこととしており、この大原則は自社システムの開発後もなんら変わるものではありません。

また、制作／進行管理システムについては自社開発がすでに完了しております。

<株式会社出版デジタル機構について>

商号：株式会社出版デジタル機構（サービス名称：パブリッジ）

所在地：東京都千代田区神田神保町 1-3 富山房ビル 3階

代表取締役社長：野副 正行

設立：2012年4月2日

資本金：39億2800万円

URL：www.pubridge.jp

<株式会社ビットウェイについて>

商号：株式会社ビットウェイ

所在地：東京都台東区台東 1-5-1

代表取締役社長：小林 泰

設立：2005年10月3日

資本金：27億2200万円

URL：www.bitway.co.jp

<コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）について>

電子書籍市場の拡大及びそれに伴う被災地域の知へのアクセスの向上に向けて、書籍の電子化作業に要する製作費用を国が補助する制度。

補助金額（上限）約10億円、事業総額約20億円。約6万タイトルの電子化が目標。

URL：<http://www.kindigi.jp>